

3人の子の出産経て復職

南條 潔子さん(39)



グループリハビリテーション
シオンで患者と触れ合
う南條さん

と情報共有しながら、治療を終えた患者が退院して自宅や高齢者施設などに帰れるよう、チームで支えている。

結婚を機に看護師を退職。だが「いつか戻りたい」と思っていた。プランクがあるため自信を持って、なかなか踏み切れずにいたところ、県看護

のないパート待遇で働けるところを見つけた。

患者を経験したことで
気付いたこともある。3
人目を妊娠中に高血圧症
候群で約1カ月入院し
た。「しんどい時に看護
師さんに声を掛けてもら
い、本当にありがたかつ
た。いい仕事だと改めて
感じた」。コロナ禍で家
族の面会制限がある今は
一層、入院患者に寄り添
うことを心掛けている。
寝たきりだった人が車

患者目線で寄り添う

いすに乗れる
ようにな
るなど、変

今年4月、看護師に復職し、榛名荘病院（高崎市）の回復期リハビリテーション病棟で働いている。作業療法士や理学療法士、栄養士らスタッフ

協会の呼び掛けがあり復職支援研修を受講した。

5歳と3歳、1歳の3人の子育て真っ最中だが、現場に戻りたい気持ちが強まり、夜勤や休日出勤

化が見えるのがうれしいという。「患者さんは遠慮して言いたいことを言えなかったりするので、こちらから気付けるようにしたい」